※ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒（医療用）の禁忌を含む注意事項等情報は電子添文をご参照ください。

漢方製剤　　薬価基準収載

68 ツムラ芍薬甘草湯（シャク ヤク カン ゾウ トウ）エキス顆粒（医療用）

やさしく学ぶ 看護師のための 漢方薬理学

芍薬甘草湯

監修：柳田俊彦先生　宮崎大学医学部看護学科 学科長／統合臨床看護科学講座臨床薬理学 教授

漢方薬が処方される機会は増えていますが、「どう効くのか」を説明するのは意外と難しいもの。本記事では、「効き方のしくみ」という視点から漢方薬をやさしく解説します。

▶ 芍薬甘草湯の特徴

芍薬甘草湯は、芍薬と甘草の２種類の生薬で構成されたシンプルな処方です。速効性があり、こむらがえりの治療に広く用いられています。ただし、偽アルドステロン症に注意が必要な甘草を多く含むため、四肢の脱力感、全身倦怠感、浮腫などの症状が出ていないか確認しましょう。

▶ 禁忌（次の患者には投与しないこと）

1．アルドステロン症の患者
2．ミオパチーのある患者
3．低カリウム血症のある患者
［1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。］

▶ 効能又は効果

急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉・関節痛、胃痛、腹痛

▶ 用法及び用量

通常、成人１日7.5gを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

▶ 構成生薬

本品7.5g中、右記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。

日局カンゾウ（甘草）	6.0g
日局シャクヤク（芍薬）	6.0g

▶ 味

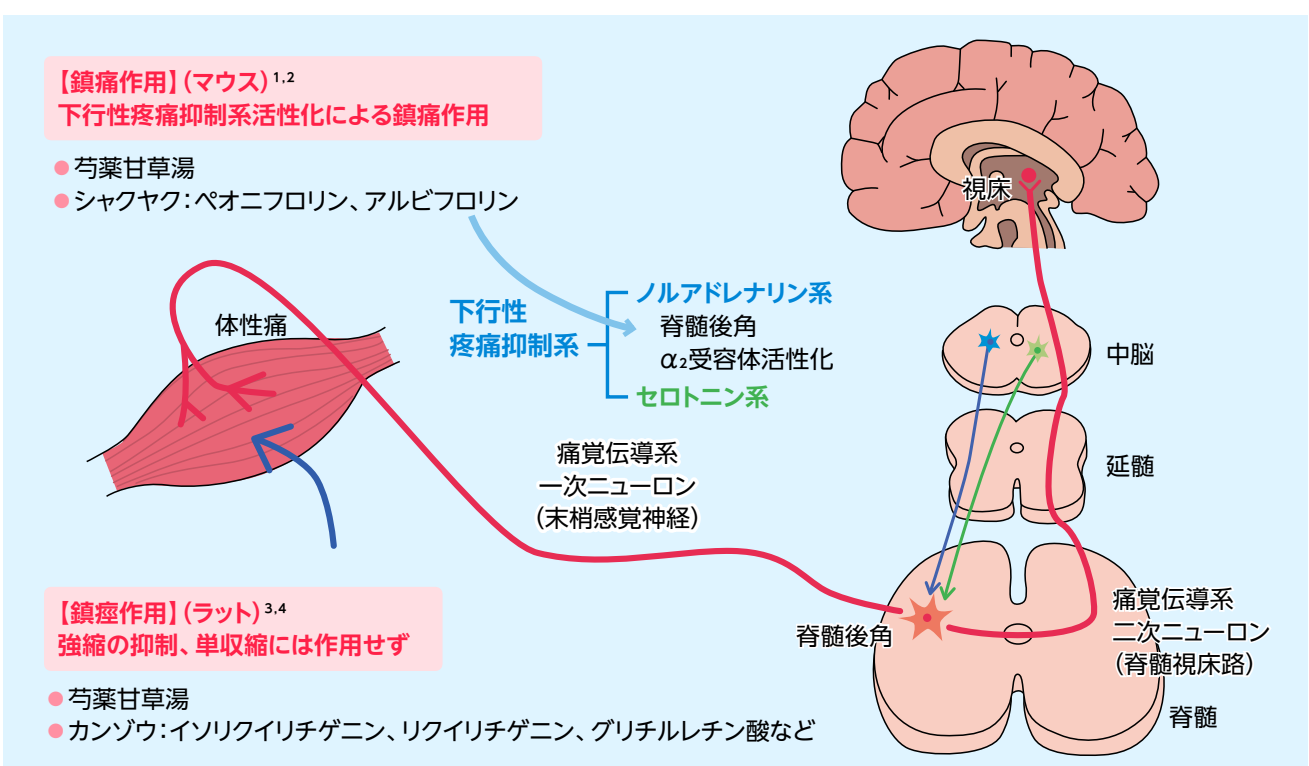
僅かに甘い

▶ 薬理作用

芍薬甘草湯は、**図**のように痛みの発生と伝達の両側面からアプローチすることで、急性のけいれん性の痛みに速効性を発揮します。

- 脳から痛みの伝達を抑えるシステム（下行性疼痛抑制系）を活性化します。
- 筋肉の過剰な興奮を直接抑制します。

図　芍薬甘草湯の薬理作用



▶ 鎮痛作用（マウス）：痛みを抑える経路の活性化

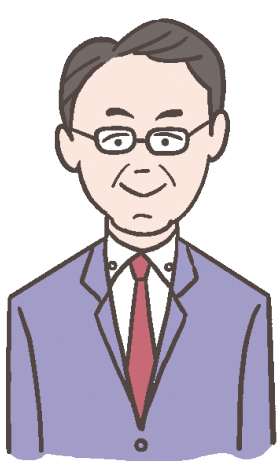
- 下行性疼痛抑制系を活性化することで、鎮痛作用を発揮します。

▶ 鎮痙作用（ラット）：筋肉の過剰な興奮の抑制

- 筋肉の異常な収縮（けいれん）を直接的に抑える作用があります。

▶ 重大な副作用

1．間質性肺炎
2．偽アルドステロン症
3．うっ血性心不全、心室細動、心室頻拍（Torsade de Pointesを含む）
4．ミオパチー、横紋筋融解症
5．肝機能障害、黄疸



柳田先生の一言メモ

甘草は甘い…？

甘草に含まれるグリチルリチンは砂糖の約200～300倍の甘味があるため、生薬としてだけでなく、甘味料として多くの食品に使用されています。肌の炎症を抑える抗アレルギー作用や免疫細胞の調節作用も持ち併せているため、カリウムを付加して水に溶けやすくしたものはスキンケア用品や医薬品にも利用されるようになっています。

［文献］
1.Omiya, Y. et al. *J Pharmacol Sci.* 2005, 99, p.373-380.
2.Lee, KK. et al. *Eur J Pain.* 2011, 15(10), p.1035-1039.
3.Lee, KK. et al. *Journal of Ethnopharmacology.* 2013, 145(1), p.286-293.
4.Kaifuchi, N. et al. *Journal of Natural Medicines.* 2015, 69(3), p.287-295.